

# くさか景子の **ちよっ** よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2009年4月 Vol 23

What's  
New?

## 定額給付金を 本当に必要な人にまわしませんか？



反対が多かった「定額給付金」を含む国の補正予算も、数の力で、衆議院で再議決されて成立し、いよいよ各自治体で給付のための事務が始まりました。

全体の25%が2008年度内の支給となり、多くの自治体は、4月以降になります。茅ヶ崎市では、総額35億4116万円で、経費は2億6576万円、4月の中旬から申請の受け付けが始まります。問題点として、ホームレスの人達にはNPO(ポルト湘南:茅ヶ崎に2箇所あるホームレス支援施設)に協力要請する、DV被害者については、警察を通じ、支援措置を行う、介護を必要とする方に対しては、民生委員が代行、入院、福祉施設入居者は施設長が代行など、行き届きにくい人達への対策も考えています。しかし、毎日80件ほどの電話対応におわれており、振り込め詐欺などを含め、まだまだ問題点はあるようです。

私は、定額給付金については、ばら撒くのではなく、国民に有効な政策に使うべきと主張してきました。去る2月12日に行った、「雇用と地域経済の危機打開を目指す市民と議員の緊急集会」で、非正規・派遣労働者や高齢失業者、中小企業経営者などの方々の窮状をうかがいました。そのときに、定額給付金を、「派遣切り」労働者の「つなぎ生活」資金や、外国籍の子どもたちの就学支援、障がい者の雇用保証、また、小中学校校舎の耐震工事、自治体病院の赤字補填など、今緊急に必要としている人たちや所に定額給付金をまわすことはできないかという意見がでました。

そこで、私を含め、地方議員の有志や大学教授、各団体の皆さんで集まり、検討した結果、基金の創設をすることにしました。もし、定額給付金を有効に使いたい方、ご賛同ください。

### 呼びかけ「定額給付金による生活困窮者支援基金づくり実行委員会」

代表：久保新一(関東学院大学教授) 事務局長：原田章弘(横須賀市議会議員)

趣旨：行政が支援対象にできない方々を支援します。

「住民登録」や「外国人登録」から漏れる方々を支援する団体への基金

使用法：支援団体に配分し、支援する。

郵便口座 00240-2-77683 目的記載で 原田章弘宛

呉東正彦、岡部玲子(横浜弁護士会人権部会) 高沢幸男(全県夜回り交流会)

イ・グンス(在日大韓キリスト教会横浜教会牧師) 齊藤つよし(元参議院議員)

郡司真弓(WE21ジャパン) 高梨晃嘉(横浜市議) 宇都宮充子(横浜市議)

日下景子(神奈川県議)

まだまだ募集中！



\* 賛同される方は、くさか事務所にご連絡ください。



## 県内初 公立の中高一貫学校視察



### 県立相模原中等教育学校へ

この4月から、いよいよ、公立の中高一貫校が始まりました。相模原と平塚の2校ですが、事前の説明会には、多くの保護者たちが集まりました。受験者は県内すべての市町から集まり、2月に行われ、競争率は、平塚で6.39倍、相模原では16.6倍となり、期待の大きさが伺えます。

公立で6年間の一貫した教育課程がたてられ、2年毎、基礎期、充実期、発展期と分けられ生徒たちはのびのびと教育が受けられます。また、一般の高校受験の勉強や部活の中途引退などで妨げられることもないので、精神的、経済的にも負担が減るものと思われます。

私たち文教常任委員会の議員たちは、現在の高校生への国語の授業参観をしましたが、発展学習と称し、独自教育に取り組んでいました。これからの中高一貫学校の高等部の教育の質の高さを感じました。今後の成果に期待したいと思います。



校内の新1年生の入る教室を視察



## くさか景子のほっとコラム



### 失業者の人たちから声を聞く！！ 県営いちょう上飯田団地（横浜）へ



県は、緊急雇用対策として、県営住宅へ40戸86人の入居を決め、3ヶ月が経ちました。私は、今回派遣切りに合った入居者の方々に話を伺いに行きました。一番望んでいることは、安定した住の確保でした。求職中、退居の期限6ヶ月が迫り落ち着かない、ルームシェアでの人間関係の大変さ、精神的な苦痛も含め、不安だということです。私は、この要望を県予算委員会でも取り上げ、「くつに合わせて足を切る」ことがないよう切実な声を受けてさらなる緊急雇用対策を訴えました。



4,5畳の部屋におじゃま！